

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード 2075 課コード 0301 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 行政サービスセンター管理事務, ②事業内容 布佐行政サービスセンター下水道接続及び浄化槽撤去工事, ③事業主体 市, ④対象地区 布佐, ⑤事業期間 平成26年度～平成28年度, ⑥担当職員数 1人, ⑦事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 重点プロジェクトへの位置づけ
(2) 目的: 布佐行政サービスセンターは布佐橋上駅舎が完成した当初から開設しており、平成18年、布佐駅前に公共下水道本管が敷設されたため、公共の施設として積極的に下水本管へ接続する必要がある。
(3) 事業内容: 浄化槽の老朽化によるポンプ故障が発生し生放流にいたった経緯があるため、布佐駅舎（布佐行政サービスセンター、布佐市民センターを含む）からの下水管を公共下水道本管へ接続し、浄化槽の撤去を行う。
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果) 浄化槽撤去率
(5) 財源内訳: 国庫支出金 補助率 0%, 県支出金 補助率 0%, 起債 充当率 0%, 一般財源 0%, その他 0%
(6) 人件費等: 換算人数(人) 0.1, 正職員人件費 910, 嘱託職員報酬額 0, 臨時職員賃金額 0
(7) 単位費用: 9.1千円/%

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) 目標設定は適切か?
(6) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価 コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成28年度)

事業コード 2112 課コード 0301 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要(PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向, 事業目的
(3) 事業内容: 内容, 当該年度執行計画, 当該年度活動結果指標
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果), 指標種類, 指標, 単位, (5)現況値, (6)目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価(DO+CHECK)

評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
参加・協働の工夫
環境への配慮
(1) 目標設定は適切か?
(2) 事業費削減の工夫をしているか?
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	2113	課コード	0301	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 住居表示整備事務	実施計画への位置づけ		○有 ○無		②部課名	市民生活部・市民課					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区		■我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市								
	⑤事業期間	平成27年度 ~ 平成31年度		⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.2人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	4,350千円 (うち人件費 1,780千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	00000	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向				事業目的	本町1丁目から本町3丁目の住居表示については、我孫子駅南口(本町地区)の区画整理事業前に実施しているため、現在の宅地状況に合わせ、再住居表示を行う。町界(丁目)、街区番号、住居番号を現地にあった合理的な住所に変更する。							
(3) 事業内容	内容	昭和42年に住居表示を実施している本町1丁目・本町2丁目・本町3丁目は、昭和45年から我孫子駅南口地区区画整理事業を開始した。これにより同地区の町界(丁目)が不明確で、尚かつ街区が整備されたことで住所が不規則となっていることから、これらを解消し合理的な住所にするため再住居表示を実施する。			当該年度執行計画	本町1丁目から本町3丁目の世帯数・事業所数・戸数調査・住居表示区域図案作成等の基礎調査を実施。							
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該(開始)年度	再住居表示(基礎調査)実施				直接	再住居表示事務の実施		%	0	100			
3年後	再住居表示整備協議				-	再住居表示事務の実施		%	0	100			
最終(概ね5年後)					-				0	0			
(7) 事業実施上の課題と対応	住居表示を行った本町地区については区画整理事業実施中の地区と住所が一致していない。また、区画整理区域外となる地域住民との調整や新町名変更の可否などや、町界(丁目)・街区・住所の変更に伴う自治会説明会・住居表示審議会の立ち上げ、開催の調整、区画整理事業との完了前又は完了後等、時期に合わせた事務事業の調整などを行う必要がある。				代替案検討	○有 ○無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
			本町再住居表示(基礎調査)業務委託	0	*	本町再住居表示(基礎調査)業務委託	2,570	*	本町再住居表示(整備協議)業務委託	4,558	*	本町再住居表示(整備実施)業務委託	8,252
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計		0	合計	2,570	合計	4,670	合計	8,364			
	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0			
	一般財源		0	2,570		4,670		8,364					
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1		0.2		2		2					
	正職員人件費	910		1,780		17,800		17,800					
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0					
	臨時職員賃金額	0		0		0		0					
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	910		4,350		22,470		26,164					
(11) 単位費用	事業費/活動結果指標		9.1千円/%		43.5千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	我孫子駅南口(本町地区)区画整理事業の実施による、町界(丁目)の境界が不明確、街区番号、住居番号が不規則となっている住所を解消し、合理的な住所にするため「住居表示に関する法律」に基づき事業を実施する。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 共同では実施できない。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当しない。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	0	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>				
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
△378.02										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	2.3	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				
		% 10万円								

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	2183	課コード	0301	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 旅券事務	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	市民生活部・市民課				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	平成28年度 ~		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.3人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	7,248千円 (うち人件費 2,670千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	00000	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向				事業目的	旅券事務の県からの権限移譲を受け、一般旅券の申請受付及び交付を市の窓口で実施し、市民の利便性の向上を図る。					
(3) 事業内容	内容	(1)我孫子行政サービスセンターのレイアウトを変更し、旅券事務用のスペースを確保する。 (2)レイアウトの変更に伴い、防犯カメラの移設を行い安全を確保する。 (3)4月より職員を増員し、窓口の開設準備を行う。 (4)増員した職員及び他既存の職員は県中央旅券事務所での研修を受け、法令から実務までを習得し窓口の開設に備える。 (4)旅券の申請及び交付を行う。			当該年度執行計画	我孫子行政サービスセンターのレイアウトを変更し旅券事務用のスペースを確保する。レイアウト変更は、我孫子行政サービスセンターの業務に支障の無いように行い、平成28年10月に窓口を開設する。また、職員は県中央旅券事務所での研修を受け窓口開設に備える。					
		当該年度活動結果指標	旅券の申請件数	単位	件	想定値	1,200		実績値		
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該(開始)年度	市民にとってより身近な窓口での申請が可能となり、市民の利便性の向上するため、これまでと同程度の申請件数を維持する。			直接	旅券の申請件数		件	0	1,400		
3年後	旅券の申請は世界情勢や景気の動向の影響を受けるため変動しやすいが、市民の利便性の向上と周知に努め、申請件数を維持する。			直接	旅券の申請件数		件	0	3,930		
最終(概ね5年後)	旅券の申請は世界情勢や景気の動向の影響を受けるため変動しやすいが、市民の利便性の向上と周知に努め、申請件数を維持する。			直接	旅券の申請件数		件	0	3,930		
(7) 事業実施上の課題と対応	市民の利便性の向上のためには、夜間も窓口をできることが望ましい。しかし、夜間は県や外務省の事務照会体制が無いため現状では、日中の受付のみとせざるを得ない。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計	0	合計	4,578	合計	276	合計	276		
(10) 人件費等	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源		0		178		276		276		
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 ■基金 □その他	3,700	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/ **		6.04千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	現在、旅券事務は県が実施しており、我孫子市から最も近い窓口は松戸である。旅券の申請には戸籍謄・抄本を添付する必要があるため、申請時には市の窓口で戸籍謄・抄本を取得したうえで旅券窓口へ行かなくてはならない。旅券事務を市が実施することで、我孫子市に本籍のある方については一つの窓口で戸籍の取得から旅券の申請までが可能となることから、市民の利便性が向上する。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他  ●②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる ■その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>			<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容			実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 個人情報を取り扱うため、市民の参画は求めない。								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容			実施した具体的な内容		環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当無し								○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (件)	目標値 (b) (件)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	1,400	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である			実績値 (f) (件)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>			実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>	
	7,248	—							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
19.32	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	件	10万円							

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (2184), 課コード (0301), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including name, objectives, budget, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)